

第85号

http://syozen.com

https://www.facebook.com/syozenji

発行日 令和元年9月25日

石室山松禪寺

住職 髙橋 乾峰 〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034 FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com



切な日にしたいものです。

春秋の彼岸は、自分を省みる大 忙しい日々だからこそ、せめて みしめよう」(伝道資料集

より)

という期間です。

彼岸のこの日、

分に目覚め、

今の自分を考え、 祖先の御恩をか

彼岸明けです。この一

一週間は「

9月20日が彼岸入り、

26 日

赤い花が目立つのですが、中日概は彼岸が近づけば野や田畑に も他人の命も大切にしていきま 車を走らせましたが、 雨も降る」と言います。 化や異常気象が影響しているの 知りませんが、これも地球温! 照不足なのでしょうか、 るのはほんのわずかでした。 でしょうか。 を迎えた23日に彼岸花を探し 岸花の開花が遅いようです。 話は変わりますが、今年は 人の世は風も吹きます、 気になるところで 咲い 原因は 人の命 7

ら益々秋が深まっていくので 稲刈りも無事に終わり、 しょう。そして、 台風の影響も免れて、 お彼岸を迎え

大空にひるがえる施餓鬼供養の祈

初盆供養と檀信徒各家先祖供養を執り行いました



す。 と思われているか のお参りをお待ち 縁の霊をも供養す のご先祖様、有縁無 霊位とともに各家 拝者全員で初盆 もしれませんが、 るものです。ぜひ来 盆供養だけのもの し上 施餓鬼法要は、 多くの皆さま げておりま 初

國寺様(大徳寺派)、豊岡市から楊岐院様(妙心寺派)、 法要を執り行いました。法要には、 連日の猛暑のなか、松禪寺では午前10時より施餓鬼 徒各家の先祖供養、 しました。今年は8霊位の新亡施餓鬼のほか、 のご出頭をいただき、住職と兄(徒弟) 心寺派)、 夜久野町より東源寺様(妙心寺派)と清太院様 暦の上では立秋を迎えた8月7日(水曜日) 和田山町より瑞泉寺副住職様 鶏魂供養を例年どおり行い 町内相田から安 で厳修いた (妙心寺派 、まし 檀信 妙 は

施餓鬼会

風 吹宝幢向 山 翻

和 法 合同修供養足 雨霑天 甘 露 門

> 風 法 吹い 雨 天をうるおす て宝幢 山 に 向 甘露門 か って

翻 る

仏 灯無限照乾坤

> 14 灯 無限 乾坤 を照らす

和

合同

修

公要の場 ?事を 知ら 13 せるの 参 集すること ぼ l) 法雨 百 修 \parallel 慈悲 同 ľ \mathcal{O} 修 雨 行をすること

宝幢=寺

院行 が \mathcal{O}

和

合=

僧

法 教

え

たと

え

坤

天と



共

対

秋

風

朝8時半から当番さんたちには斎座のお弁当 づくりをお願いしました。 彼岸法要を執り行いました。いつものとおり、 彼岸中日を迎えた9月23日、 松禪寺では秋

午前11時、 総代さんの撞く大鐘の合図で法

> 要が始まります。参拝者全員で読経、 して先祖様に感謝の意を伝えました。 焼香を

妙心寺派管長様からの寿詞と記念品 を伝達し、参拝者全員で祝いました。 読経後は、百歳と米寿を迎えられた方に、 (輪袈裟)

あるのです。 味わいました。 実りの秋に、そして今ある命に感謝しながら 膳と同じ食事を、参拝者全員でいただきます。 さて、斎座は本堂や薬師堂にお供えしたお 供養とは「食べる」ことでも

祖先が残したさまざまな命と暮らしに感謝

した、お彼岸でした。

秋 彼 岸

瑟瑟古今情 秋 しゅうふうしつしつ ここん 風 瑟瑟古今の

幽 明 隔 死 生 共に幽明に対しとも、ゆうめいたい れして死生な を 隔於

山 寺 下 仏事に相逢う山寺の下

仏

事

相

逢

時人幾 度 聴 鐘 声 時 0) 人幾度か 鐘 声 を聴く

わらない。 風が寂しく吹き、 人々との別れを惜しんで悲しむ姿は今も昔も変

往事の人々も何度か法要の鐘の音を聴いてきたのだろう。 彼岸法要に山寺に人々が相集う。 互いにあの世とこの世に対して、 生死を隔てている。



▲扇風機も必要なほど暑いお彼岸でした=9月23日 ※お願い

豊 南 平 平 佐 畄 田 田 尾 柴田 桒田 福田 渡辺 昌子様 省一様 (昭和7. (昭和6年生まれ (昭和7年生まれ 年生まれ

ひご一報ください。 握していません。今年米寿8歳を迎えられる 知らせ下さい。数え年でお祝いをしています 同居家族が居られましたら、 園会本部へ申請いたします。 お寺では檀信徒皆さま全員の生年月日を把 年齢が過ぎていても構いませんので、 お祝いの品を妙心寺派花 ぜひ住職までお ぜ

百歳 • 米寿のお祝 ۱, を伝 達

だきました。誠におめでとうございます。 迎えられた3名の皆さんに、申請により妙心 数え百歳を迎えられた2名の皆さん、 をいただきました。併せて松禪寺花園会から、 寺派管長・小倉宗俊老大師より寿詞と輪袈裟 寿詞を入れる額縁をそれぞれ贈呈させていた お家に長寿の方々が居られるのは家庭和楽 妙心寺派花園会本部への申請により、 一家繁栄の瑞兆とお祝い 米寿を 申し

るよう願ってやみません。 のもとであり、 上げる次第です。 ますますのご長寿を保たれ

◎百寿

田 中島 朝子様 (大正9年生まれ) (大正9年生まれ

達磨忌・開山忌のご案内

11月3 11 時より執行



す。禅を伝えるために中国 して菩提達磨と名を改めま 子として生まれ、 です。南インドの小国の に渡り、洛陽の少林寺で面 達磨大師は、 禅宗の 後に出家 開 É

境内掃除へのご参加ありがとうございました

して頂きました。 時までの2時間、 も汗だくになる気温のもと、 相変わらずの猛暑日で、 一回目となる境内掃除を行いました。 お盆も間近に迫った7月28日(日)、今年 草刈りなどの作業に精を出 わずか数分の作業で 午前8時から10 今年も

貝田、 備もお手伝いいただきました。 皆さんでした。お陰様で8月7日の施餓鬼会 員さん7名と有志の皆さん4名、 役員)さん6人をはじめ、上山根、下山根 ん方には、施餓鬼棚の組立など施餓鬼会の準 には、参拝者皆さんを気持ち良くお迎えする ことができました。有り難うございました。 今回協力してくださったのは、 この作業を終えてから総代(責任役員)さ 平田、 中路、宮本、樫谷隣保の各評議 総勢17名の 総代



▲境内周辺すべての草刈りをしていただきました= 7 月 28 日

を 開 います。 一笑禅慶和尚大禅師を勧請開山としていいっしょうぜんけいおしょうだいぜんじ 次に、 基と 松禅 寺は来り て 翁き 師 祖さ 諄和尚大禅 0) 師 で あ る ŧ 師じ

営みます。

禅寺では達磨忌と開山忌を

来る11月3日

松

す。10月20日を忌日としております。 ますので、ぜひお参りください。 この達磨忌と開山忌を次のとおり執り行

とき 午前11時より法要 11月3日(日/文化の日

場所 松禅寺本堂

正午斎座(けんちん汁

※恐れ入りますが、炊事当番さんは午前8時 30分にご来山ください。

会費(後期分)

•••••••••

納入にご協力願います

扱票をお送りいたします。 願いします。遠方の皆様には郵便局の払込取 がありますので、何卒ご協力の程よろしくお 営しています。 の皆様方の、護持と発展を願う護持会費で運 をお願いする月です。松禪寺花園会は檀信徒 9月は松禪寺護持会費の通常会費(後期分) 各評議員さんより納入の依頼

依頼済みですので、 賛助会員の方々へは本年

2月に納 後期分の請求はございま

壁して坐禅すること9年に及んだと言われて